

第45回全日本競歩能美大会を開催しました



全日本男子スタート



全日本女子スタート

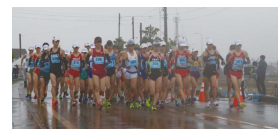
3月21日、第45回全日本競歩能美大会が、根上総合文化会館前スタート・フィニッシュのコースで行われました。

前回大会に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、アジア選手権の中止、また観客自粛の要請をするなど規模を縮小して開催しました。全日本の部20km男女(兼日本学生選手権)・高校生の部・中学生の部を実施し、多くの選手が健脚を競いました。

全日本男子20kmでは富士通(株)の高橋英輝選手が1時間20分19秒、全日本女子20kmでは自衛隊体育学校の河添香織選手が1時間36分54秒で優勝しました。



全日本男子フィニッシュ



高校生男子スタート



中学生男女スタート



高校生女子スタート

能美市公式キャラクター誕生3周年記念イベント



紙芝居を真剣に聴く子どもたち

能美市公式キャラクターひぼ能ん・ゆず美ん・ぼぼ能んは、3月25日に誕生3周年を迎えました。記念イベントとして、3月12日から25日にかけて市内15保育園を巡回訪問し、園児たちと楽しいひと時を過ごしました。

最終日の25日、緑が丘保育園では、サプライズで井出市長が登場し、のみバス新車両のデザイン紹介や、正しい手洗いの仕方を確認する紙芝居を披露しました。



ラインスタンプの紹介ページ(市ホームページ内)はこちらです↑

また同日、ラインスタンプ第2弾の販売もスタートしました。今回はビジネスにも使える「敬語」や「あいさつ」、トレンド感のある「コロナ対策」や「流行語」、地域の特徴を反映した「方言」など、より使いやすく、オリジナリティとふるさと愛のあるスタンプとなっています。

能美市初!地域活性化起業制度を活用

能美市では、総務省の「地域活性化起業制度(企業人材派遣制度)」を活用し、この度(近畿日本ツーリスト中部から島崎愛美さんを派遣していただきました。

4月1日、島崎さんが市役所を訪れ、井出市長から島崎さんに委嘱状が手渡されました。

地域活性化起業制度(企業人材派遣制度)とは、三大都市圏に本社を有する民間企業などに勤める社員

が、一定期間、地方自治体で業務に従事し、そのノウハウや知見を活かすことで、地域の魅力や価値の向上につなげ、地方圏へのひとの流れの創出を図るものです。

島崎さんは、旅行商品造成の業務に長年携わっており、能美市では、「観光地としての受入環境の整備」や「着地型観光の確立」、能美市の情報発信などに取り組んでいただく予定です。



委嘱状を交付された島崎さん(左)と井出市長

福島保育園の園開放と感謝式を行いました

3月21日に、福島保育園で地元町内会(福島町・吉原町・吉原釜屋町)の住民を対象に園開放を実施しました。

また、3月27日には、これまでご協力・ご支援いただいた地域の方々に感謝の意を表すとともに、長い

歴史のある公立保育園の区切りとして、感謝式を行いました。

4月1日からは、運営を民間事業者に移管し能美市で初の民間保育園「福島こども園」としてスタートしています。



園開放では、歴代卒園児集合写真等の展示がありました

能美市移住アンバサダーに新たに6名が就任しました

4月7日、新たに能美市移住アンバサダーとなる方々の委嘱式を市役所で行いました。井出市長は、「能美市にずっと住んでいたい」と感じてもらえるよう市内外に情報を発信してほしい」とアンバサダーになった方々へ呼びかけました。

移住アンバサダーは、のみ移住サポートセンターのもとで、移住希望者の知りたい情報の発信や移住後のフォローアップ、移住プロモーションイベントへの参加・協力など、自身の経験を活かした活動を行い、不安や疑問を感じる移住者に寄り添います。

新任の移住アンバサダーは、池見藍さん、黒田主吾さん、清水和貴子さん、羽岡美由紀さん、早助千晴さん、山口康さんの6名で、在任中の方と合わせて計15名となりました。



後列左から黒田さん、井出市長、前列左から清水さん、池見さん、早助さん。



市ホームページのみ移住サポートセンター

園児が加賀丸いも植え付け体験

福岡保育園の年長組（きくぐみ）35人が、中庄町の畑で加賀丸いもの植え付け作業を体験しました。

この体験は中庄町丸いも倶楽部によって毎年行われているもので、園児たちは倶楽部の南修二さんと本忠儀さんから説明を受け、加賀丸いもの種芋を丁寧に植え付けました。種芋に土をかぶせ終わった後には、「おおきくなあれ、まあるくなあれ、おいしくなあれ」と加賀丸いもの成長を願い、お話ししました。



説明を受けながら植え付けをしました

加賀丸いもの魅力がつまったPR動画 大学連携で完成

金沢学院大学との連携事業のひとつとして令和2年度に制作した加賀丸いものPR動画が完成しました。3月30日、担当した飯田栄治教授と学生2名が市役所を訪れ、井出市長に動画の完成報告を行いました。

動画には、農作業の様子や料理人、大学教授のインタビューも盛り込まれています。PR動画は今後、加賀丸いもの商談会や能美市PRイベント等で活用していく予定です。



完成報告の様子

健康クラブ開講式

寺井末広健康クラブ、根上はまなす健康クラブ、辰口健康クラブ「スマイル」の市内3地区の健康クラブの開講式が開かれました。おむね60歳以上の会員87名が参加し、ダンス・体操を楽しみました。

それぞれのクラブの会長からクラブ員に向けてあいさつがあり、1年間の抱負が力強く述べられました。開講式後にはさっそく活動があり、参加者同士元気に親睦を図りました。

3地区の健康クラブは年間36回開かれ、クラブ参加希望者も随時受付しています。
問い合わせ スポーツ振興課 ☎58-2273 ☎55-8555



体操を楽しむ参加者

根上南部保育園児が シイタケ菌打ち体験

3月18日、根上南部保育園の玄関前でシイタケの菌打ち体験が行われ、園児36名がホダ木にドリルで穴をあけ、シイタケの菌駒を打ち付けました。

この体験は、シイタケの成長過程や自然の恵みをいただくときの感謝の気持ちを園児に学んでもらおうと高坂・根上町緑を守る会が毎年企画しています。



シイタケが大きく育つことを願い、ホダ木にドリルで穴をあける園児

再任の人権擁護委員4名が委嘱されました

4月1日から人権擁護委員を務められる竹本志津子さん（再任4期目・牛島町）、二羽一弥さん（再任3期目・寺井町）、中村司さん（再任2期目・佐野町）、牧林和美さん（再任2期目・中町）の4名へ、金沢地方方法務局小松支局長から委嘱状が伝達されました。4名の人権擁護委員の任期は令和3年4月1日から令和6年3月31日までとなり、在任期間中に人権侵害による被害者の救済や、地域への人権啓発活動を行います。



左から二羽さん、中村さん、牧林さん、竹本さんは都合により、別日に委嘱状が伝達されました。

能美市スポーツ推進計画の策定を報告

3月に能美市スポーツ推進計画を策定したことを受け、3月30日、スポーツ推進審議会会長の山本徹さん（徳久町）が市役所を訪れ、井出市長に報告しました。

報告の席上では、能美市で実施されているスポーツ施策について意見交換が行われました。

山本さんは「計画の内容が形になり、子どもから高齢者まで生涯スポーツに携わってくれることを願っています」と話されました。



左から山本会長、井出市長

能美ロータリークラブへ感謝状

送迎車両などをご寄附いただきました

能美ロータリークラブから、送迎車両、各中学校名入り「かんだてんど」（組立式テント）、医療従事者支援金、枝垂れ桜植樹のご寄附をいただきました。

4月10日、能美ロータリークラブ創立50周年記念講演・記念式典で感謝状贈呈式が行われ、井出市長が能美ロータリークラブ元山利朗会長へ感謝状を手渡ししました。



感謝状贈呈の様子

根上分団の消防ポンプ自動車を更新

能美市消防団根上分団配備の消防ポンプ自動車は、納車から18年が経過しており、各部品等の経年劣化が進んでいたことから、消防ポンプ自動車を更新し、更新車両のお披露目を3月30日に市役所で行いました。

更新した消防ポンプ自動車は、従来よりも真鍮ポンプが排気量の大きいものに変わったことから、防火水槽や自然水から水を吸い上げるスピードが速くなり、火災現場においてより速く放水ができるようになります。



更新した消防ポンプ自動車

卒園児に九谷焼の記念品を贈呈

今春、市内15保育園を卒園した397名全員に、石川県陶磁器商工業協同組合（九谷陶芸村内）から記念品として九谷焼の湯飲みが贈られました。この事業は、平成15年から続いています。

3月22日には、東浩一理事長と藤田努総務委員長が市役所を訪れ、井出市長に目録を手渡しました。湯飲みには、トキが描かれています。



左から藤田さん、東さん、井出市長

各委員会委員が任命されました

3月議会で同意されました各委員会の委員の選任書・辞令交付式が3月26日・4月6日に行われました。

監査委員
・齊藤敏明（東任田町）
公平委員会委員
・糸崎淑栄（福岡町）
・中山和子（湯谷町）
・中本保英（辰口町）
教育委員会委員
・徳野伸彦（寺井町）
・竹崎奈津美（中ノ江町）

津波・大規模風水害対策車、高機能救命ボートを配備しました

全国各地で懸念されている地震や大雨などの風水害が発生した際に、円滑な人命救助活動を行うため、津波・大規模風水害対策車と高機能救命ボートが、3月26日に石川県内で唯一、市消防本部に配備されました。本車両および高機能救命ボートは総務省消防庁からの無償使用物品として配備を受け、市内の災害対応をはじめ、国の要請があれば緊急消防援助隊として、全国への災害派遣を行います。市消防本部では、今回配備された資器材等を活用し、災害対応力の強化を図り、安全安心のまちづくりに一層努めてまいります。



高機能救命ボートは、船底が補強布で保護されているため、がれき等がある浸水域でも活動可能な20人乗りの大型ゴムボートで、多くの要救助者を一度に搬送することや、車椅子に乗ったままの状態でも救助することも可能な高機能ゴムボートとなります。

市内企業21社に助成金を交付

3月26日、産業振興奨励助成金、企業立地促進助成金、本社機能立地促進補助金の交付式が行われ、井出市長が交付対象の各企業の代表に交付決定通知書を手渡しました。21社には計4億6741万円を交付しました。

産業振興奨励助成金は、市内で工場などの新設・増設や機械設備に一定額以上の投資を行った企業に助成するものです。次の4社に交付しました。

技研（株）（下清水町）、東和（株）（吉原釜屋町）、（株）中島路断（中町）、（株）根上シブヤ（吉原釜屋町）

企業立地促進助成金は、市の産業用地等取得し、工場等の新設・増設を行った企業に助成するものです。次の16社に交付し、交付式には、今年度初めて交付を受けた5社にお越しいただきました。

（株）アイ・オー・データ機器（吉原釜屋町）、エスフーズ（株）（山



産業振興奨励助成金は計1,332万円を交付しました。

口町）、（株）セラムックデバイス（能美）、（株）金沢村田製作所（赤井町）、（株）金森製作所（徳山町）、（株）川上鉄筋工業（山口町）、（株）光栄（岩内町）、（株）（株）（岩内町）、（株）スーパ・アロイ（岩内町）、（株）中東（岩内町）、（株）（株）（山口町）、（株）東振精機（粟生町）、日本通運（能美）、（株）日本パーツセンター（粟生町）、日野トレーディング（赤井町）、米田二



企業立地促進助成金は計4億4,809万円を、本社機能立地促進補助金は600万円を交付しました。

福岡小学校が文部科学大臣表彰受賞を報告

福岡小学校運営協議会（コミュニティ・スクール事業）が令和2年度「地域学校協働活動推進に係る文部科学大臣表彰」を受賞しました。3月15日、協議会を代表して、山崎勉会長、橋本美緒ディレクター、藤本智子校長が市役所を訪問し、受賞の喜びを井出市長に報告しました。福岡小学校では、地域・保護者・学校・児童会が力を



左から橋本さん、山崎会長、井出市長、藤本校長

「JAIST・能美市連携日本語講座」を開講

4月13日、北陸先端科学技術大学院大学で開講式が行われ、日本語教室がスタートしました。開講式で学長や井出市長らから激励を受けた外国人留学生らは、これまで以上に充実した学習環境で、能美市国際交流協会の日本語サポーターから実践的かつ個人の日本語スキルに応じた丁寧な指導を受けました。



開講式を行いました。



日本語教室の様子